

2014 年 7 月 16 日～ 20 日

15 回目となる今回は、ベトナム中部のトゥア・ティエン・フエ省と北部のホアビン省で、トイレについての授業や地域のトイレ調査、トゥア・ティエン・フエ省に隣接するクアンナム省にある Danang INAX で工場見学を行いました。BAJ や STT のスタッフ、ベトナム現地法人の LIXIL INAX VIETNAM Corporation (以下 LIXIL VIETNAM) および LIXIL INAX DANANG Manufacturing Co., Ltd. (以下 Danang INAX) から 4 名の従業員、および日本から訪れた 2 名の従業員が、子どもたち約 120 名と活動を通して交流を深めました。



行程概要

BAJ とともに	
2014 年 7 月 16 日	トゥア・ティエン・フエ省フーロック郡ヴィンミー村ラムモンクアン中学校で環境教育 トゥア・ティエン・フエ省フエ市内のトイレ調査
2014 年 7 月 17 日	トゥア・ティエン・フエ省フエ市トウイスワン小学校で環境教育とトイレ調査のまとめ
2014 年 7 月 18 日	Danang INAX における工場見学

STT とともに	
2014 年 7 月 23 日	ホアビン省タンラック郡ディックザオ村で環境教育

BAJ とともに

LIXIL が協働している BAJ は、年間を通し、トウイスワン小学校の 1～3 年生の全クラスと、ラムモンクアン中学校の 1 年生（日本の小学 6 年生）の希望児童を対象とした環境教育を行っています。今回の 3 日間の活動は、夏休み中にも関わらず、環境活動を継続しているトウイスワン小学校の 1～3 年生 22 名と、ラムモンクアン中学校環境クラブの 21 名、そして、フエ市フオンロン地区の中学 2 年生～高校 1 年生（日本の中学 1 年生～高校 1 年生）6 名、合計 49 名の子どもたちと、BAJ スタッフ 6 名、Danang INAX 従業員 2 名、LIXIL VIETNAM 従業員 1 名、LIXIL 従業員 2 名で行いました。フオンロン地区は、BAJ が 2008 年から 2010 年まで活動していた地区で、LIXIL（当時の株式会社 INAX）も授業を行ったことがあり、今回は子どもたちから BAJ に環境活動を再開したいという要望があったことがきっかけとなりました。

ラムモンクアン中学校での環境活動と

トゥア・ティエン・フエ省フエ市内のトイレ調査（7月16日）

ラムモンクアン中学校は、前回も環境活動を行った学校で、フエ市から車で約1時間の距離の海とラグーンに挟まれた白砂地帯が広がる村にあります。最初に、子どもたちからの活動報告を行いました。ラムモンクアン中学校の子どもたちは、校庭の樹木のCO₂吸収量と全校生徒が排出するCO₂排出量を比較する研究と、ツル性植物の成長観察とコンポストづくりの発表、フオンロン地区の子どもたちは、自分たちの住む地域と町の中心部の通りにおける樹木のCO₂吸収量と、その通りを通行する車両から排出されるCO₂排出量を比較した研究を報告してくれました。どちらの研究発表でも、人や車両の排出量のほうが吸収量より小さいという結果でした。子どもたちは、発表を聞いていた校長先生に校庭の樹木の植樹をお願いしていました。

その後は、テキストを使った授業を行いました。このテキストでは、トイレが使用されるようになった歴史的背景や、トイレの種類やその特徴、使い方、掃除方法を学習しました。講師となった Danang INAXの従業員は、子どもたちに「普段どこでおしっこしている？」などと声をかけ、意見を引き出しながら授業を行っていました。子どもたちは「庭でおしっこをしている」など現状を恥ずかしがりながらも元気に答え、それによっておこる問題点を勉強しました。



ツル性植物の成長記録の説明



クイズを交えつつ授業をすすめる



友達と意見を交わす子どもたち

午後は、4グループに分かれフエ市内のトイレ調査を行いました。グループそれぞれに LIXILの従業員と BAJスタッフが付き、トイレの種類や問題点などを調査します。小学生グループは、グループ内の友人2名のお家のトイレ（水洗トイレとドライトイレ）の調査をしました。どちらも一般的なトゥイスワン地区内の農家です。それぞれのトイレで、午前中に勉強したトイレの授業を思い出し、トイレの種類を考えていました。また、「床がきれいに掃除されている」「雨だと困るね」と気付いた点を記録していました。



トゥイスワン地区の農家宅



自宅のトイレを紹介



屋外のドライトイレ

トゥイスワン小学校での環境活動と フエ市内のトイレ調査まとめ（7月17日）

トゥイスワン小学校はフエ市郊外にある小学校で、前日も訪れた小学校です。午前中は、トゥイスワン小学校の子どもからこれまでの活動報告として、地域に生えている木や地域の中の好きな場所の紹介を模造紙に書いた地図などを用いて紹介してくれました。その後、子どもたちと一緒に外へでて、発表のあった好きな場所に連れて行ってもらいました。LIXILの従業員は童心に返り、通道路の木の实を摘み取り食べたり、いっしょに手作りの網を使って魚を獲ったり、家の軒下に潜ってアリジゴクを探したりしながら、子どもたちと交流を深めました。



地域に生えている木についての説明



いつも通る裏道をみんなで探検



子どもといっしょにアリジゴク採集

午後は、小学校に戻りフエ市内のトイレ調査のまとめを行いました。調査に同行したLIXILの従業員がアドバイスしながら、昨日撮影した写真を使って模造紙にまとめていきます。2日間で親しくなった子どもたちと従業員たちは、調査結果を楽しそうに一枚の紙にまとめていました。出来上がった模造紙には、調査結果だけではなく、「トイレの见えない部分の構造を教えたもらった」や、「いっしょに市場のおばさんにインタビューをしてくれた」など、今回の環境活動の思い出も合わせて書き込まれていました。



まとめ方をアドバイス



調査した結果をいっしょにまとめる



写真と絵を使って完成

Danang INAXの工場見学（7月 18日）

3日目は、環境教育に参加した子どもたちや学校の先生を Danang INAXに招待し、環境活動内容の報告と工場見学を行いました。フエ市から工場までは車で3時間弱の遠い道のりです。まず初めに、Danang INAXの従業員に対し子どもたちがこれまでの環境活動を報告しました。大勢の大人たちの前で、子どもたちはこれまで以上に緊張しながら報告をしていました。その後の工場見学では、実際に稼働している生産現場で水栓金具ができる様子を見学しました。ベトナムでは工場見学は非常に稀なものです。普段見ることのできない生産現場の様子を、大変興味深く見学しながら、LIXILの従業員に質問をしていました。「とても工場が片付いていた」「工場のトイレは、これまで調査したどのトイレよりもきれいだった」との感想をいただきました。最後に「今日は楽しかった」ととても大きな声で答えてくれ、子どもたちにとって印象深い環境活動になったと感じました。



発表を聞く従業員



見たことの無い完成前の水栓に興味津々



子どもたちに商品の説明をする製造部長

STTとともに

ナムソン村での環境活動（7月 18日）

ナムソン村は、ハノイから車で約3時間ベトナム北部の山岳地帯にあり、米やトウモロコシなどを栽培する人口1,500人余りの農村です。7つの集落が点在し、傾斜の急な農地なども利用しながら生活しています。LIXILが協働しているSTTは、この村で在来種の活用や生態系に配慮した農法の取り組み、生き物の調査や衛生改善などを村の人々と話し合いながら行っています。また、村民からの声を受けて、トイレ建設の支援も行っております。建設費用の半額を支援し、残りを各世帯が負担して、建設作業も自分たちで行ってもらうことで、持続的な衛生改善をすすめています。3年ぶりとなった今回の訪問では、子どもたちや青年団66名を対象にトイレの授業とワークショップを行いました。最初に、建設したトイレを適切に使い続けてもらうために、オリジナルテキスト「トイレについて考えてみよう」を使った授業をLIXIL VIETNAMの従業員が講師となりました。プロジェクターが使えなかったため、テキストを見せながらの授業となりましたが、子どもたちに近寄り声をかけながら授業を進め、子どもたちはいきいきと問いかけに答え、笑顔あふれる授業となりました。



伝統的な衣装を身に付け、農作業をするナムソン村の住民



オリジナルテキストを使っの授業



子どもたちに話しかけ授業をすすめる

その後、集落のトイレについて調査した結果をまとめるワークショップを行いました。子どもたちは、青年団を中心に集落ごとにトイレの種類やその割合、問題点を写真やイラストを使ってまとめ、発表しました。集落ごとに割合は異なりますが、水洗トイレを設置している集落は少なく、土壌浸透型トイレ（穴を掘っただけのトイレ）が8割を占める集落もありました。発表では、まずは土壌浸透型トイレをコンポストタイプのトイレに変えていきたいと将来の方針も語られました。「土壌浸透型トイレでは、どんな悪影響があるのか理解できた。」「家に帰ったら、両親に自分の家のトイレの改善を話してみようと思う」との感想もありました。



トイレについてのワークショップ



村のトイレの現状を報告



最後はみんなで記念撮影

今回の活動を通して、子どもたちが環境について興味を持ち、楽しみながら勉強している様子や、生活が改善している様子を見ることができ、これまでの活動が少しずつですが確実に定着している様子を感ずることができました。また、ベトナムの従業員にとっても、日頃の業務とはまた違う達成感や充実感を得ることができ、日々の業務の励みにつながっています。

LIXILは環境活動教育を行うことで、子供の成長を促すだけでなく従業員も成長し続け、ベトナムの持続的な発展に貢献していきます。

環境教育活動参加者

トゥア・ティエン・フエ省	フエ市トウイスワン小学校児童 22名	
	フエ市フォンロン地区生徒 6名	
	フーロック郡ヴィンミー村ラムモンクアン中学校生徒 21名	
ホアビン省	タンラック郡ナムソン村子どもと青年団 66名	
BAJ	ベトナム事務所	片山恵美子
		Ly Ba Khuong (リー バー クオン)
		Pham Vu Tien (ファム ヴー ティエン)
		Nguyen Dinh Dong (グエン ディン ドン)
STT	東京事務所	Nguyen Tam Thuy Dung (グエン タム トゥイ ズン)
	通訳	押村友里子
	代表	Truong Dinh Lam (チュオン ディン ラーム)
LIXIL	ベトナム事務所	伊能まゆ
		Nguyen Thanh Tung (グエン タイン トゥン)
		Nguyen Thi Thanh Loan (グエン ティ タイン ロアン)
	LIXIL VIETNAM 総務部	Do Thi Hoa (ドー ティ ホア)
		Le Thi Tuyet Mai (レ チトゥエット マイ)
LIXIL	LIXIL VIETNAM 人事部	Nguyen Hong Hanh (グエン ホン ハン)
	Danang INAX 技術部	Nguyen Quoc Vuong (グエン クック ブン)
	Danang INAX 製造部	Vo Anh Loc (ヴォー アイン ロック)
	CSR・環境推進部	部長 川上敏弘 / 夢沼亜沙子